ある日の育児日記から (58)

佐藤　和代

敬が主夫になってはや半年。会社員だった頃は、子どもと接する時間も余裕もあまりなかったので、失業したらどんな子育てをするかしら、と興味しんしんだった私です。

で、結果は、というと。…男っていいかげんなのだ！　と認識を新たにしましたね。

何がいいかげんかって、その場がしのげればいいという態度。有が車のレバーにさわろうとして「ダメ」と言われ「何で?」ときます。敬はひとこと「爆発するぞ」。圭が寝る前にアイスクリームを見つけて「食べたい」と言うと「それはお酒を凍らせたものだ」。

きわめつけはおばけシリーズです。有がパジャマに着替えようとしなかったとき「パジャマおばけがくるぞ」と脅したら、本気でこわがったのに味をしめ、以来、パジャマおばけ、歯磨きおばけ、おかしおばけと、登場したおばけは数知れず。最近は、おばけはお父さんの友達で、いつどこで知り合って、電話番号はこれで、電話一本ですぐ呼べる…と、だんだん手が込んできました。

さすがもと営業マン、口八丁手八丁。でも、どうしてパジャマになったほうがいいのか説明したほうが早いと思うんだけど。…私は敬の子育てをひそかに、うそ八百育児と呼んでいます。

このごろアニメTシャツを着ない圭(6才)と、アニメTシャツしか着たがらない有(3才)